

富士見市協働事業提案制度 令和7年度実施事業

事業の名称	傾聴ボランティア養成研修		
提案者	傾聴ボランティア「やまぶき」		
市担当部署	高齢者福祉課		
主な活動場所 (施設名等)	富士見市内		
構成員	市内在住	14 名	
	市内在勤・在学	0 名	
	市外在住	3 名	
	合計	17 名	
団体設立年月	平成23年4月		
事業期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年2月28日		
事業の目的 (要約)	少子高齢化や人間関係の希薄化による高齢者の社会的孤立を解消するコミュニケーションツールのひとつとして市民へ傾聴の知識を提供し、お互いの声掛けや気配りにより、誰もが安心して住み慣れた地域に住み続けられる街づくりを目指す。		
事業の内容	傾聴ボランティア養成講座の開催。		
事業予算額	市補助金	150,000 円	
	団体負担金	0 円	
	合計	150,000 円	
協働の必要性と 役割分担	1 協働の必要性 ・傾聴の重要性を多くの市民へ周知するため。 ・相談窓口や制度について参加者へ周知することで、適切な情報提供が行えるため。		
	2 提案団体の役割 ・研修会の企画、開催 ・事業周知のためのチラシの作成、配布		
	3 市の役割 ・事業についての助言、会場の確保、広報やHPへの掲載		